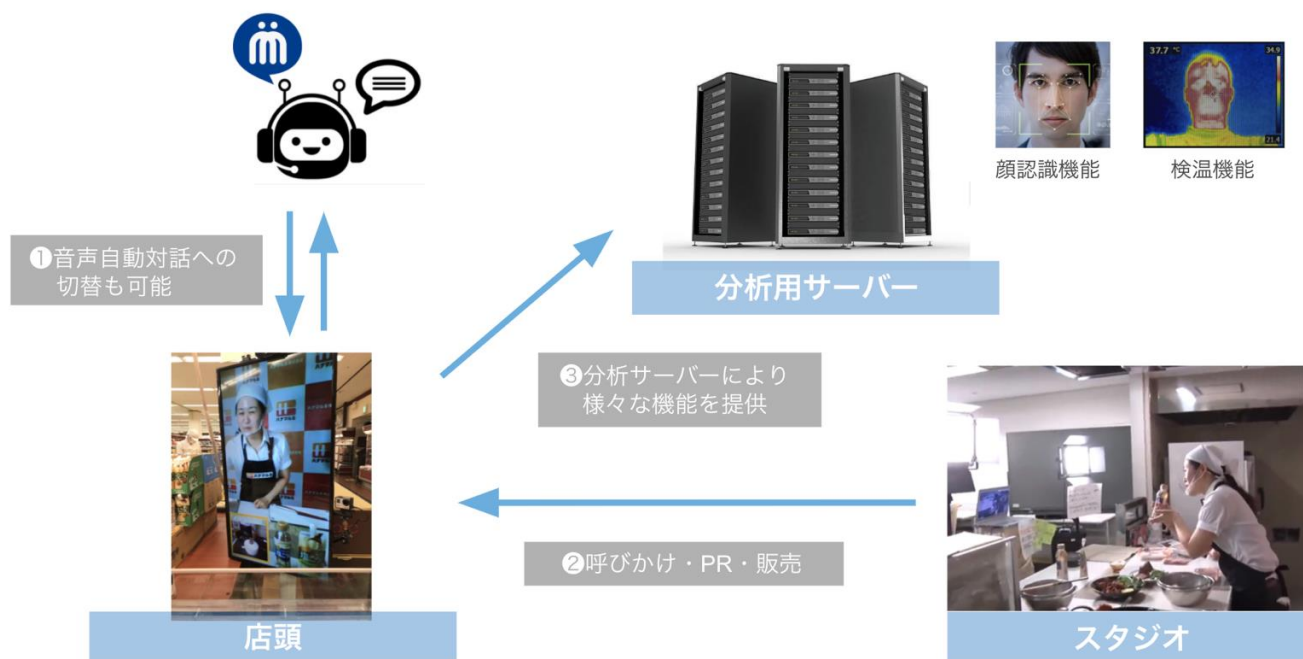


【ウィズコロナ×DX 販促】

2020年9月9日  
お問い合わせ番号: CAB20200909

## 非対面・非接触・複数店舗同時に店頭販促を可能にする「リモート接客システム」 Nextremer と共同開発、「オンライン LIVE 推奨販売」のシステムを刷新

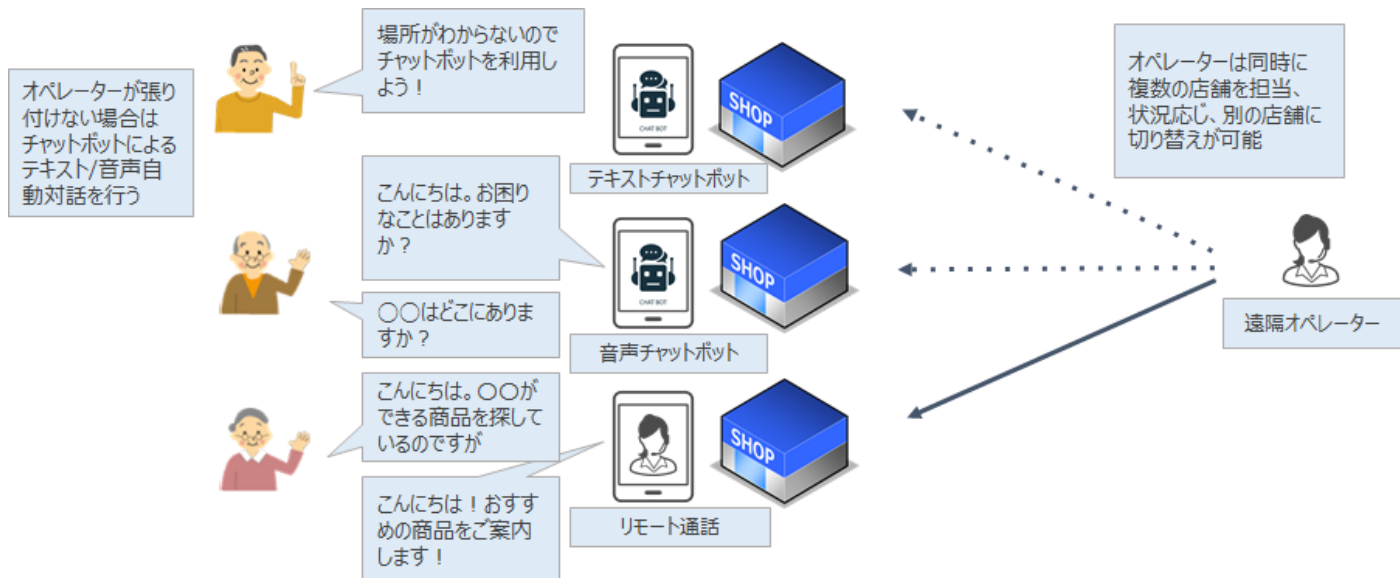
流通・サービス店舗に特化したアウトソーシング事業を展開するインパクトホールディングス株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役社長:福井康夫、東証マザーズ・証券コード:6067)の子会社で、セールスプロモーション人材サービス事業を行っている cabic 株式会社(本社:京都市中京区、代表取締役社長:岡野泰也、以下「当社」)は、ウィズコロナ時代のニューノーマルに対応すべく、店頭販促の DX 化の一環として「オンライン LIVE 推奨販売」を展開しております。この度、株式会社 Nextremer(本社:東京都板橋区、代表取締役社長 CEO:高橋太一、以下「Nextremer」)と協業し、店舗店頭でのリモート接客・推奨販売に特化した非対面・非接触・複数店舗同時に店頭販促を可能にする「リモート接客システム」を共同開発いたしました。



### ◆ 「リモート接客システム」について

- ポイント 1 : 一次対応をチャットボットが行い、二次対応を人が行うことで省人化が可能に。
- ポイント 2 : 複数店舗を同時に監視し、適切なタイミングで切り替えることで業務効率化が可能に。
- ポイント 3 : 非対面・非接触の接客によりウィズコロナ時代のコミュニケーションに対応、顧客満足度の向上を実現。

コロナ禍における流通小売店舗等では、従来の対面による販促手法が見直され、店頭での販促施策に制限がある状況が続いております。当社では、オンライン機能を搭載したデジタルサイネージをスーパーマーケット等の売場に設置し、オフィス内やキッチンスタジオからマネキン販売員が LIVE 中継で推奨販売(デモンストレーション)や接客を行うサービスを展開しています。同サービスのシステム面について、Nextremer と共同開発した「リモート接客システム」を導入したことにより、チャットボットによる自動応答や複数拠点への同時配信による省人化が可能となり、より品質の高いサービスを提供できるようになりました。



## ◆ ハードウェアについて

当社グループ会社の株式会社 impactTV が企画設計、製造、販売しているデジタルサイネージと業務用ミニ PC、音声マイク、カメラ、そして今回開発した「リモート接客システム」を連携させることで、オンライン上で販売員とお客様双方向のコミュニケーションを可能にしました。



- ※ デジタルサイネージ以外に、業務用ミニ PC、通信用 SIM、音声マイク、カメラ等が必要です。
- ※ LIVE と LIVE の合間は、店頭用 CM 動画等の動画コンテンツを配信する予定です。
- ※ 数店舗同時中継で実施することを想定しております。
- ※ 売場にお越しいただいているお客様と双方向でのコミュニケーションを行うことも可能です。
- ※ 稼働日、稼働時間、稼働人数、必要機材、その他業務内容等により費用が異なります。お見積のご相談はお気軽にお問い合わせください。

◆ 株式会社 Nextremer 会社概要

---

社 名 : 株式会社 Nextremer  
事 業 内 容 : AI 社会実装事業 (AI エンジンライセンス・AI プロダクト)、AI システム開発・研究開発事業  
設 立 : 2012 年 10 月  
資 本 金 : 376 百万円  
代 表 者 : 代表取締役社長 CEO 高橋 太一  
本社所在地 : 東京都板橋区成増 1-30-13 トーセイ大樹生命ビル 10F  
WEB サイト : <https://www.nextremer.com/>

【本件に関するお問い合わせ】

cabic 株式会社(インパクトホールディングス株式会社 100%子会社)

TEL:06-6467-4711 / E-mail:info@cabic.net